

令和元年度

# 『みんなで創る内牧小学校』

～ 学校評価アンケート集計結果まとめ ～



「早寝・早起き・朝ごはん運動」の活動から

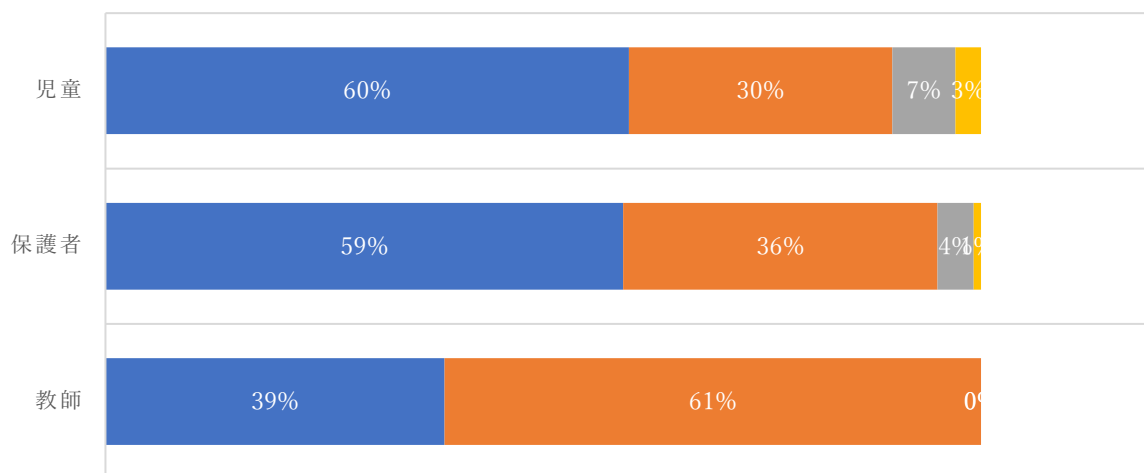
## 【調査の概要】

調査期間	令和元年11月12日（火）～令和元年12月5日（木）		
調査対象	全児童	523名	（回収率 97.9%）
	保護者	399家庭	（回収率 88.5%）
	教職員	30名	
	学校関係者（学校評議員）		5名

## 春日部市立内牧小学校

## 1. 学校は楽しいか

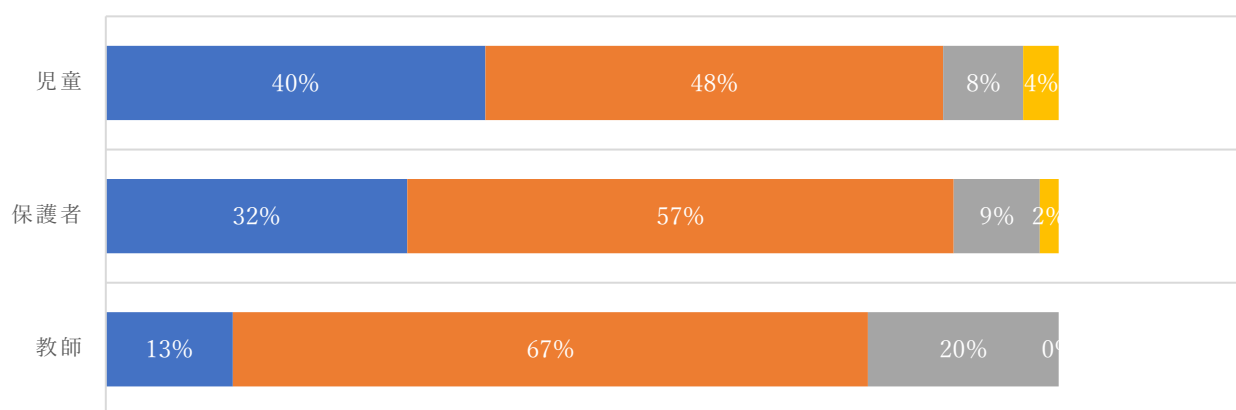
■ そう思う ■ どちらかと言えばそう思う ■ どちらかと言えばそう思わない ■ そう思わない



肯定的な回答が9割を超えています。今後も、児童が学ぶ楽しさを味わえる学校を目指して、教育活動の充実を図ります。

## 2. よく話を聞いて学習しているか

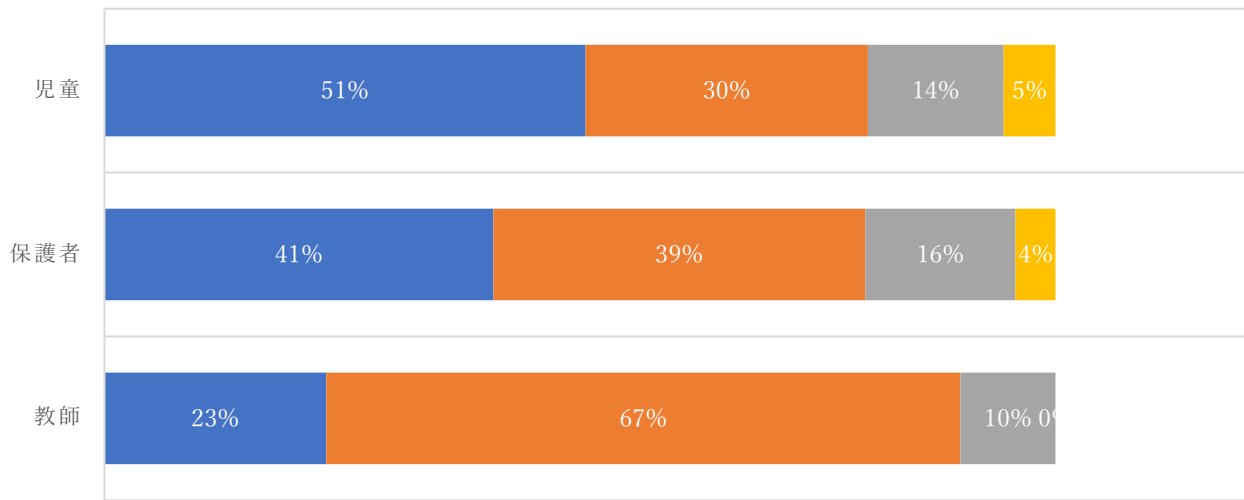
■ そう思う ■ どちらかと言えばそう思う ■ どちらかと言えばそう思わない ■ そう思わない



児童・保護者の回答は肯定的なものが多いです。「話を聞く」という学習の規律を大切にすることで児童の学力は向上します。今後も話が聞ける児童を育ててまいります。

### 3. 家庭学習をしているか

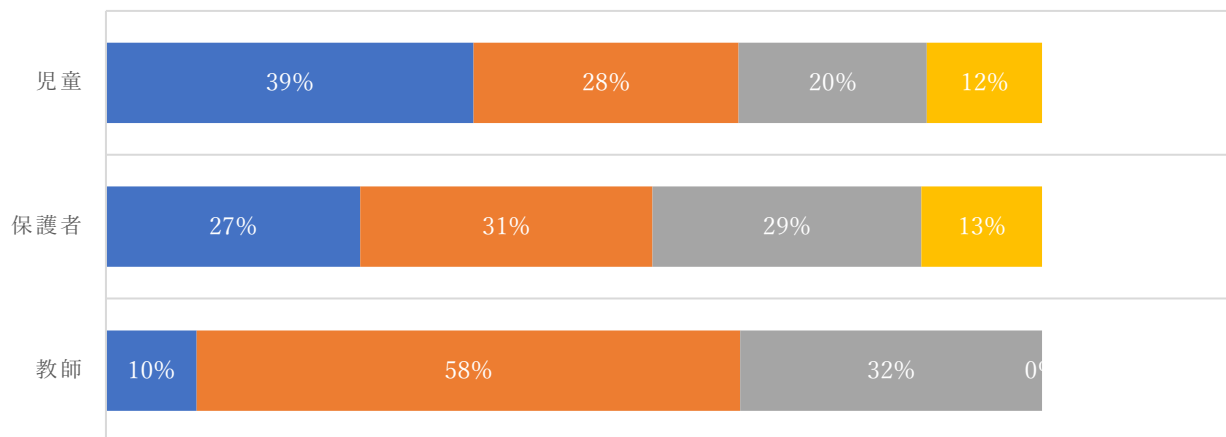
■ そう思う   ■ どちらかと言えばそう思う   ■ どちらかと言えばそう思わない   ■ そう思わない



児童・保護者の回答は肯定的なものが多いです。家庭での協力を感謝しています。学習習慣は学校以外でも定着させる必要があります。今後もよろしくお願いいたします。

### 4. 本を読んでいるか

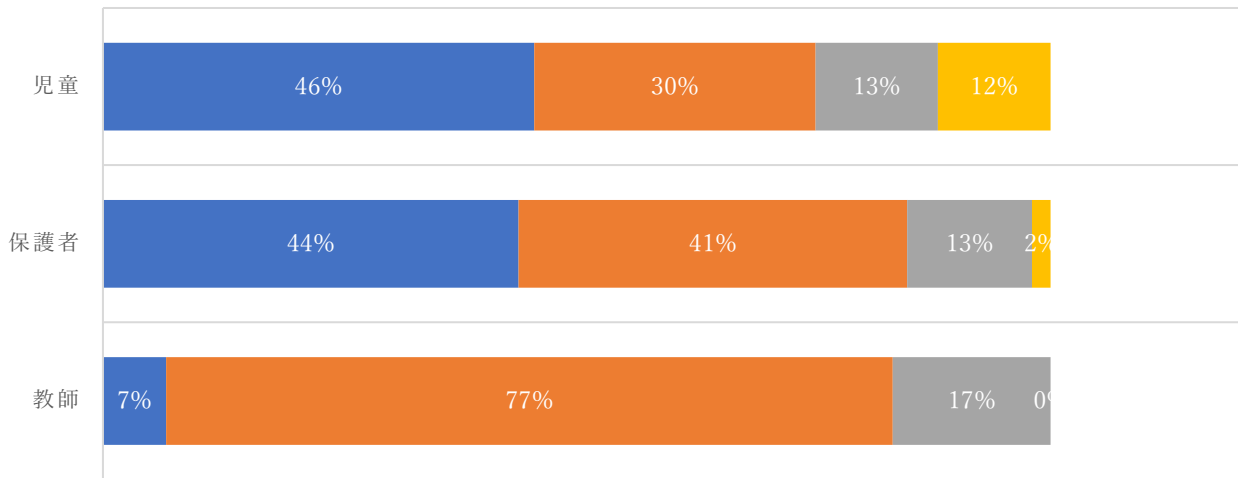
■ そう思う   ■ どちらかと言えばそう思う   ■ どちらかと言えばそう思わない   ■ そう思わない



読書習慣は学力の向上のみならず、生涯学習の基礎基本であります。今後も読書の楽しさを味わわせる指導の工夫をまいります。

## 5. 学校のことをお話しているか

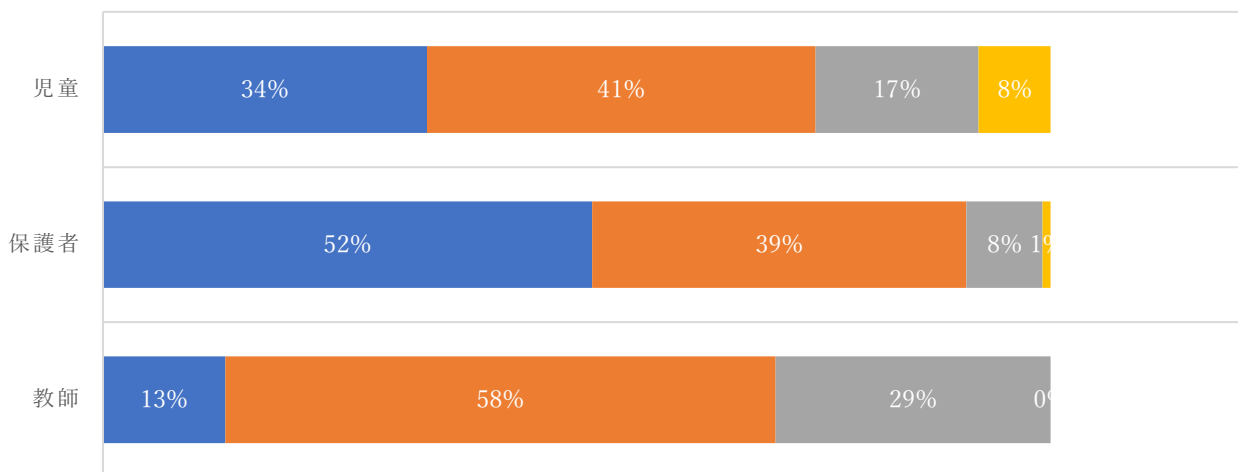
■ そう思う   ■ どちらかと言えばそう思う   ■ どちらかと言えばそう思わない   ■ そう思わない



全体的に肯定的な回答が多かったです。今後も、親子の会話を通して、学校の教育活動について理解を深めていただきたいと思います。

## 6. 明るいあいさつができていますか

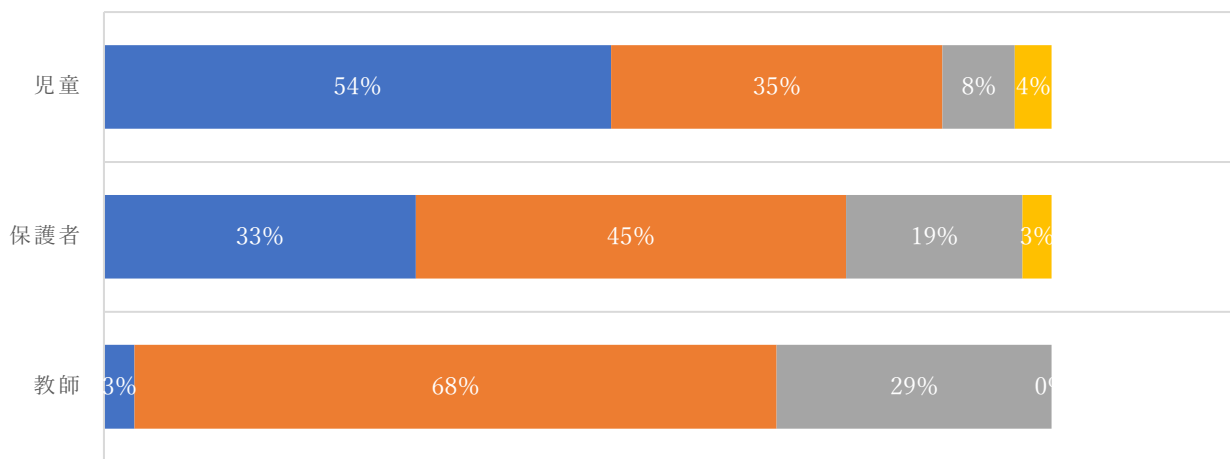
■ そう思う   ■ どちらかと言えばそう思う   ■ どちらかと言えばそう思わない   ■ そう思わない



明るいあいさつの習慣化が少しずつ定着しております。今後も積極的にあいさつ運動を続けてまいります。

## 7. 場に応じた言葉使いができているか

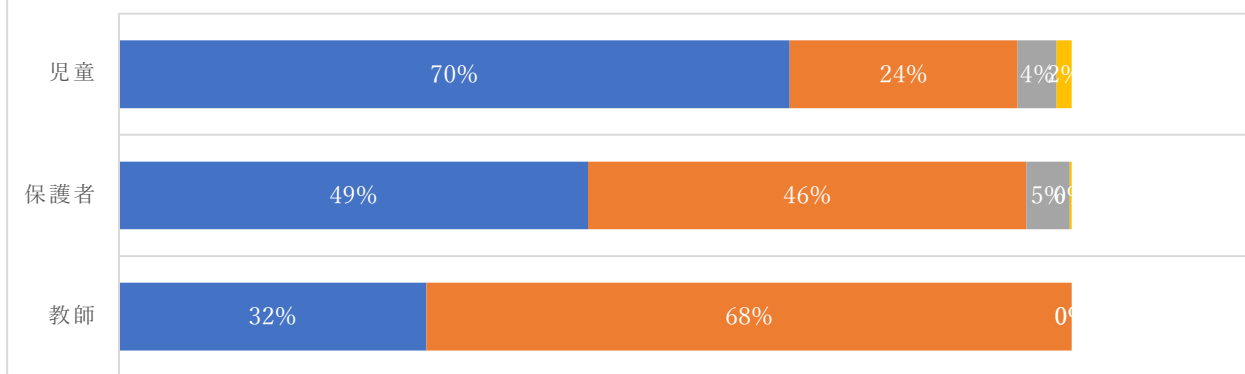
■ そう思う   ■ どちらかといえばそう思う   ■ どちらかといえばそう思わない   ■ そう思わない



肯定的な回答は多いものの、三者の感じ方に差が見られました。今後も、時と場に応じた言葉づかいについて指導していきます。

## 8. 友達や他の人と仲良くしているか

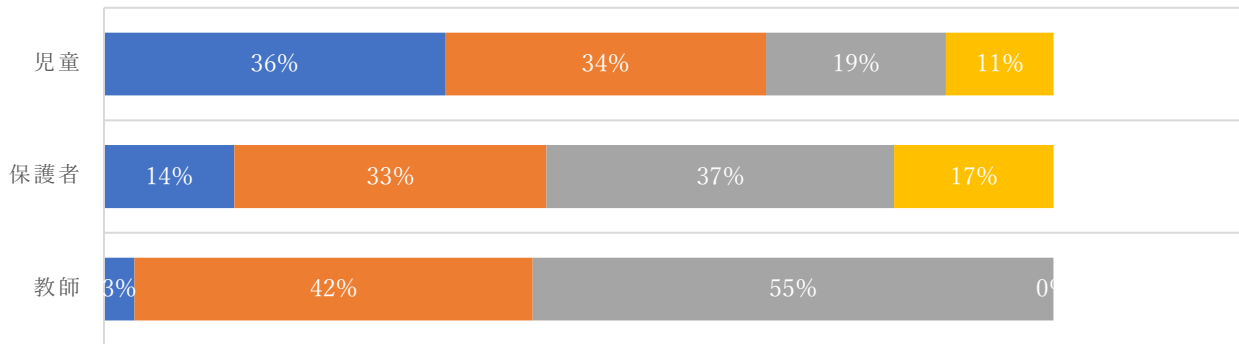
■ そう思う   ■ どちらかといえばそう思う   ■ どちらかといえばそう思わない   ■ そう思わない



昨年度に引き続き、肯定的な回答が多かったです。今後も、「心の教育」を充実させ、友達を大切にする児童を育成します。

## 9. 整理整頓が身についているか

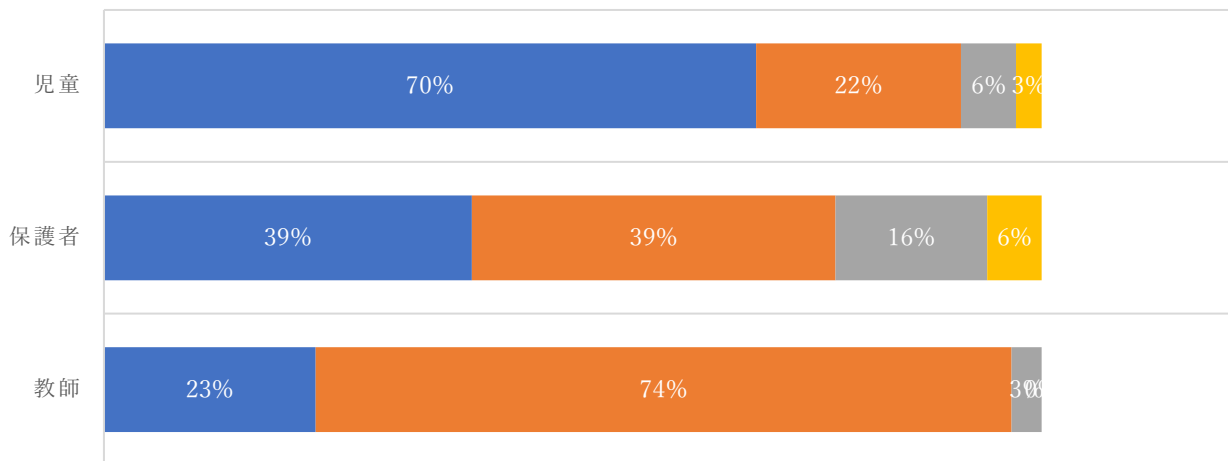
■ そう思う ■ どちらかと言えばそう思う ■ どちらかと言えばそう思わない ■ そう思わない



児童と保護者・教師の感じ方にずれが見られました。今後も家庭と連携して整理整頓に係る指導の充実と見届けを細やかに行っていきます。

## 10. 体力づくりに取り組んでいるか

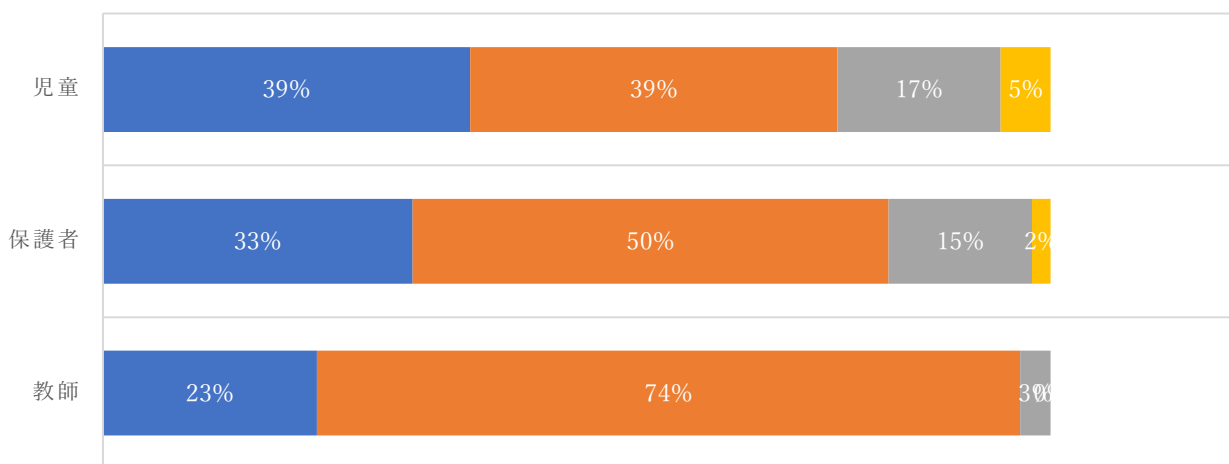
■ そう思う ■ どちらかと言えばそう思う ■ どちらかと言えばそう思わない ■ そう思わない



肯定的な回答が多かったです。概ね良好であると捉えられます。今後も体力づくりに努めていきます。

## 1 1. 早寝・早起き・朝ご飯を大切にしているか

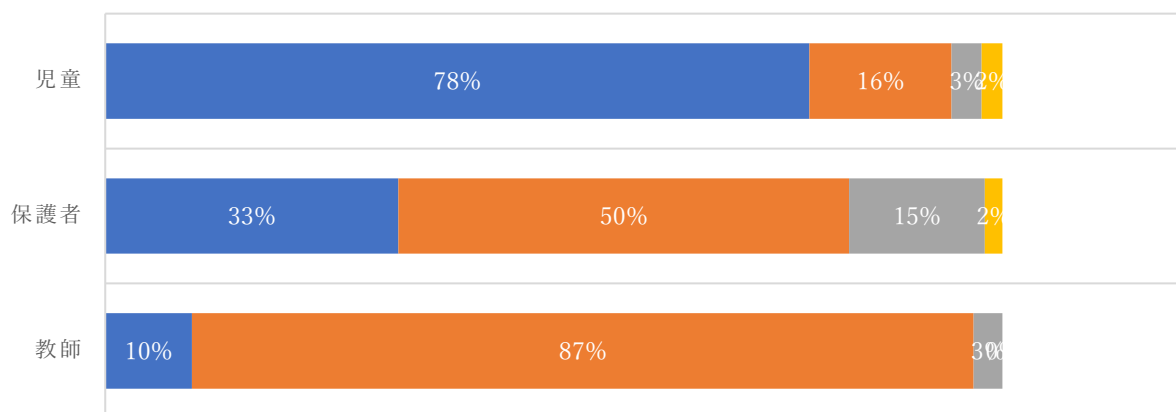
■ そう思う   ■ どちらかと言えばそう思う   ■ どちらかと言えばそう思わない   ■ そう思わない



概ね肯定的な回答が多かったです。今後も文部科学省が推奨しているこの取組の充実を図っていきます。

## 1 2. 事件や事故にあわないよう生活しているか

■ そう思う   ■ どちらかと言えばそう思う   ■ どちらかと言えばそう思わない   ■ そう思わない

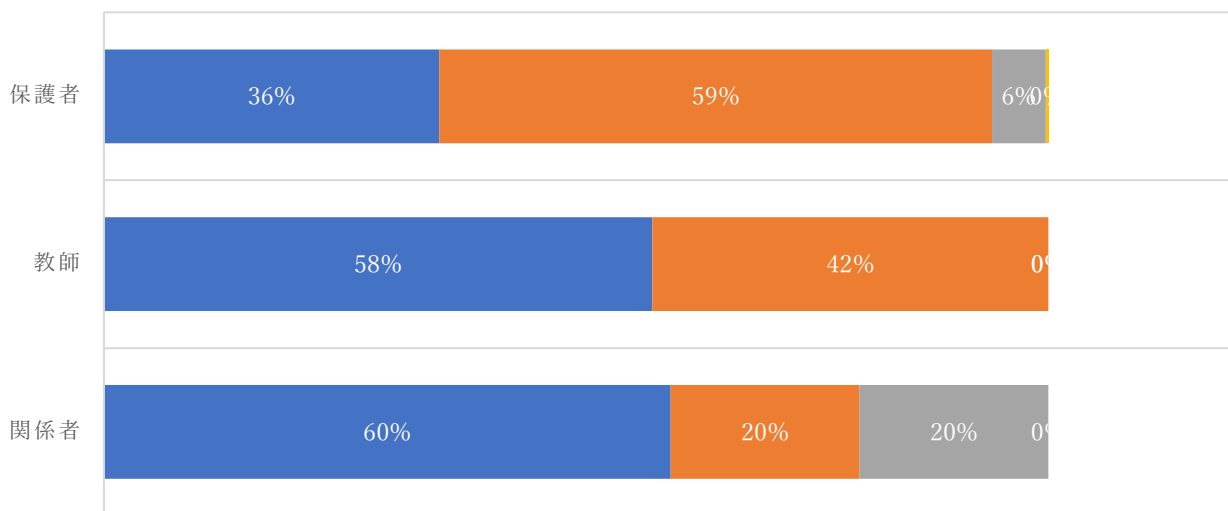


概ね肯定的な回答が多かったです。今後も、家庭、地域と連携するとともに、児童自身の安全意識の向上を図っていきます。

## 学校評価Ⅱ

### 1. 家庭・地域との連携

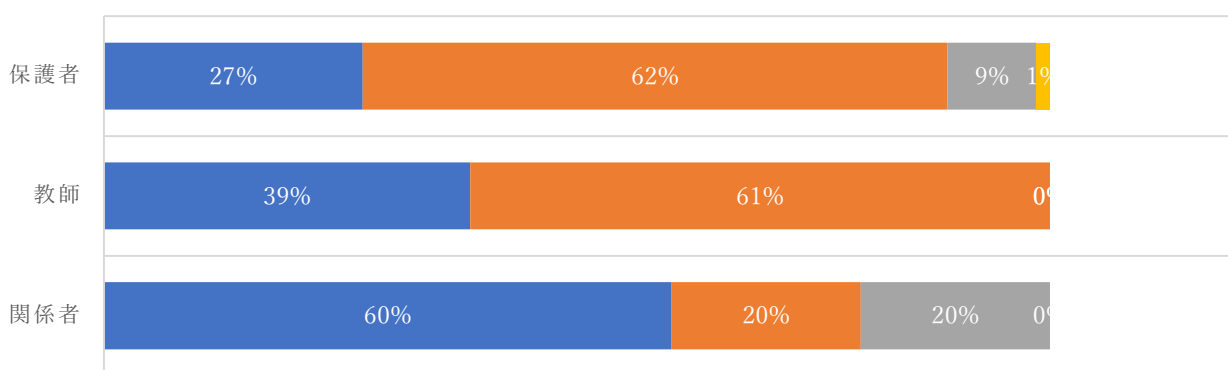
■ そう思う   ■ どちらかと言えばそう思う   ■ どちらかと言えばそう思わない   ■ そう思わない



肯定的な回答が多かったです。今後も、家庭や地域と連携を密にした取組を継続して行っていきます。

### 2. 生活指導の対応

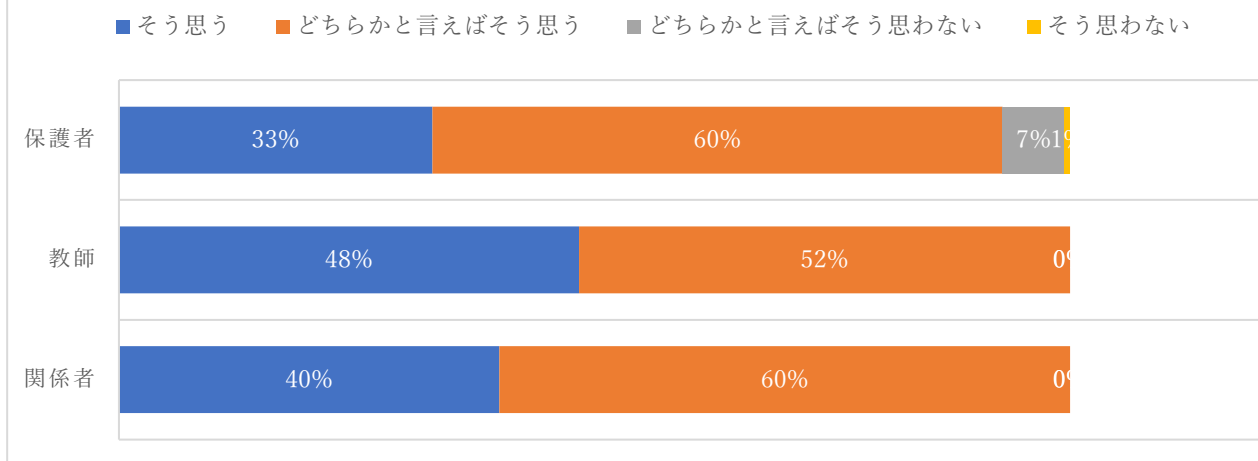
■ そう思う   ■ どちらかと言えばそう思う   ■ どちらかと言うとそう思わない   ■ そう思わない



肯定的な回答が多かったです。今後も学校と保護者が共通理解・共通行動がとれるよう学級懇談会、面談や相談の場を充実させていきます。

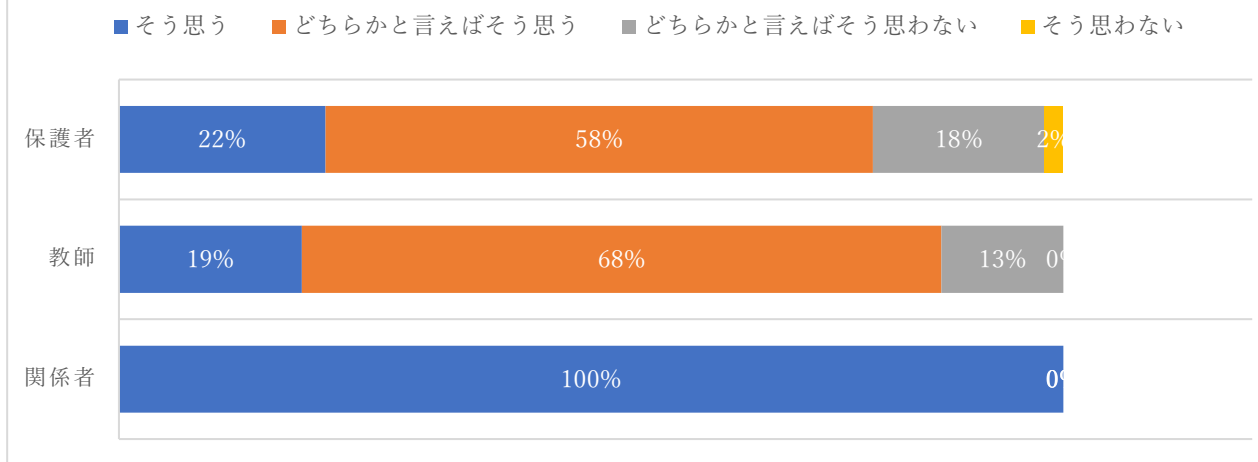


### 3. 学習指導法の工夫



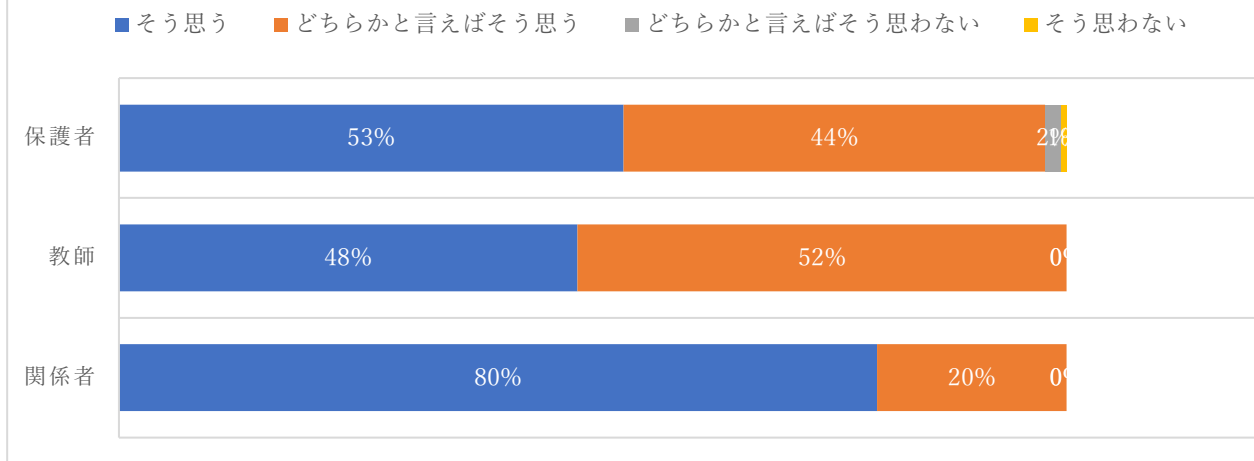
肯定的な回答が多かったです。今後も、教職員一人一人が研修に努め、確かな学力の定着を目指していきます。

### 4. ICT,外国語活動への取り組み



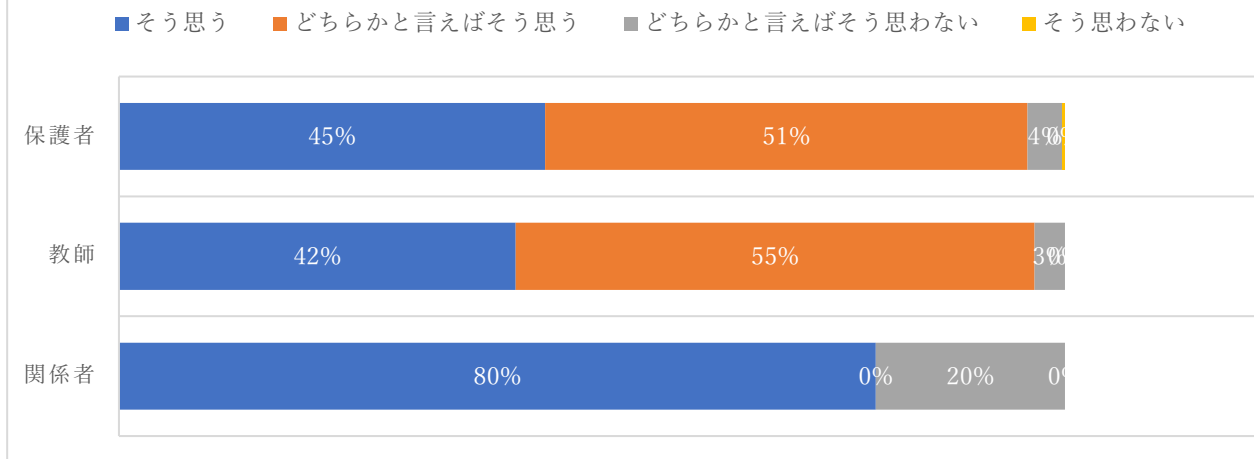
ICT 機器の効果的活用や英語活動の充実など新学習指導要領（2020 年度全面実施）の実現化のため具体的な方法を学び、指導の充実を図ります。

## 5. 体力づくり・健康づくり



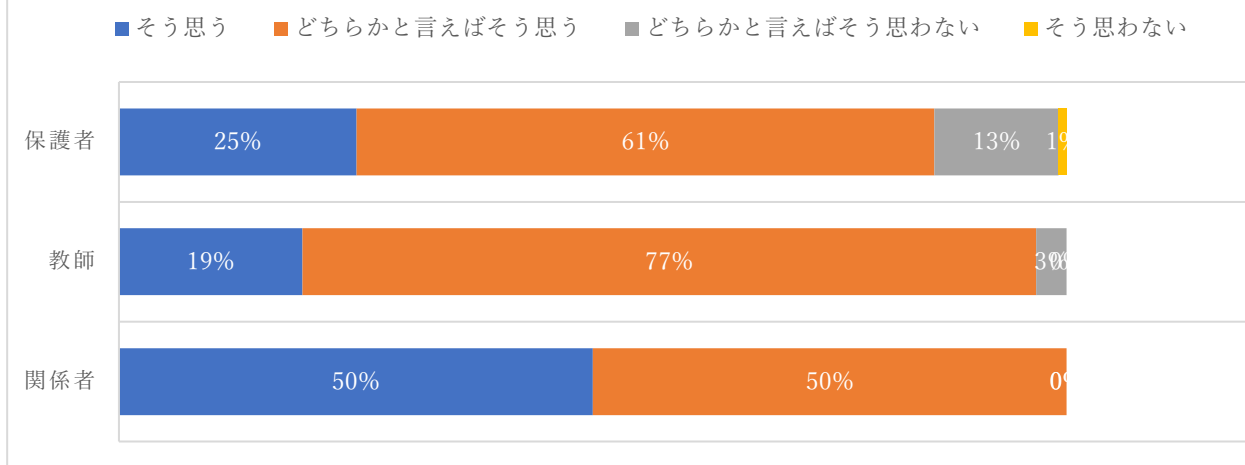
肯定的な意見が、90%を超えています。今後も、児童の体力の向上と健康づくりに係る指導を充実させていきます。

## 6. 地域力の活用



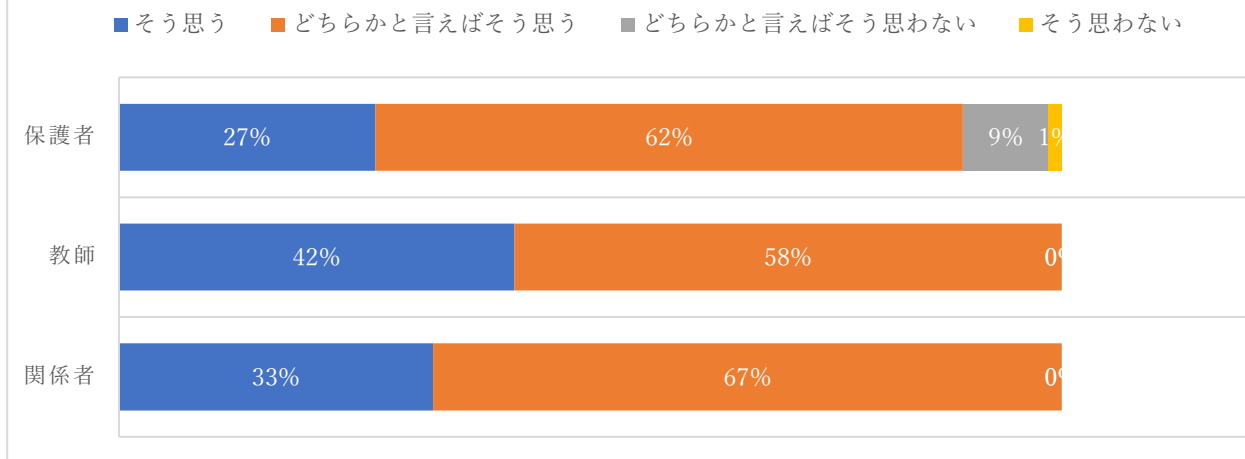
肯定的な意見が多いです。本校の教育活動に地域をはじめ、保護者の皆様方が積極的に関わっていただいている成果だと思います。

## 7. 豊かな心の育成



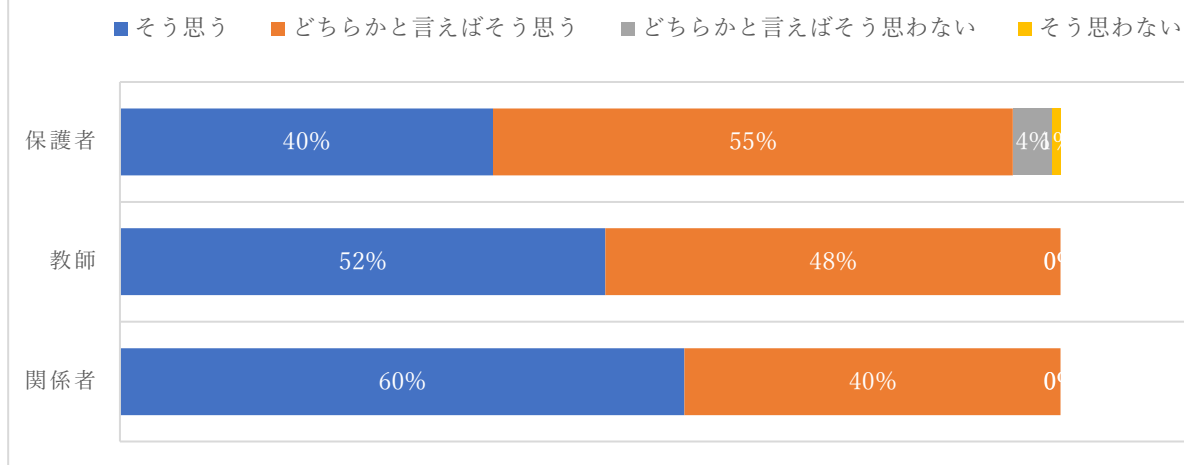
昨年度に引き続き、肯定的な回答が多かったです。心の教育については喫緊の課題であり、今後も全教育課程を通して道德心の向上に努めていきます。

## 8. 子供への公平な評価の実施



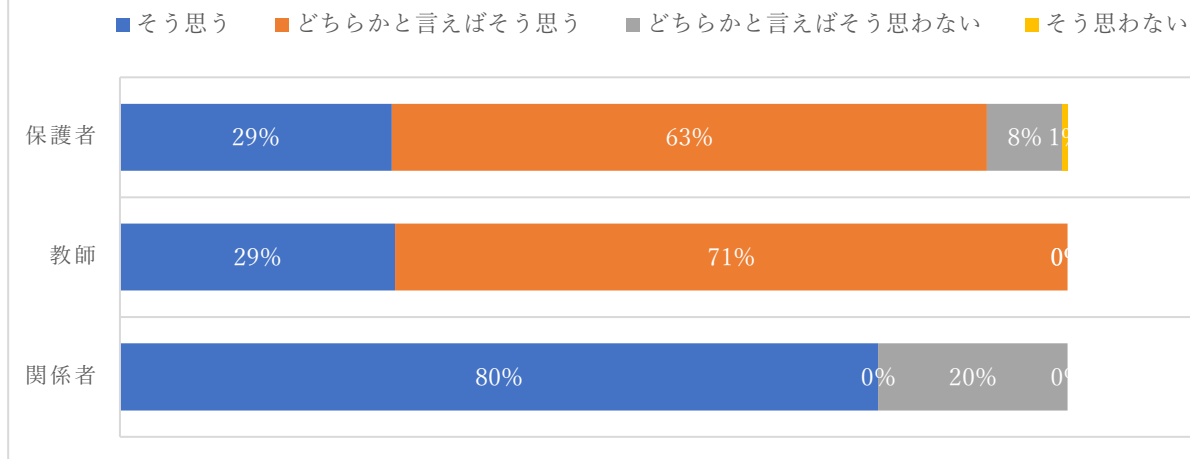
肯定的な回答が9割以上あります。今後も今以上に常に児童の様子を細やかに把握し、適切な励ましや声かけをしてまいります。

## 9. 子どもへの安全指導



保護者の方々の旗当番や「出来ることからやろう会」の皆さんのご支援により、児童の安全が担保されていると捉えています。

## 10. 教育環境の整備



肯定的な回答が多かったです。今後も、学校応援団ボランティアの方々や関係機関と連携を図り、環境整備に努めてまいります。

## 【自由記述に係る今後の対応等について（一部要約）】

### ①成果として

- 校長先生をはじめ多くの先生方、保護者との関係もよく保護者同士も協力し合って暖かな学校だと思えます。
- 友達とも仲良く過ごせています。担任の先生からも優しく指導をいただいています。心から感謝しております。
- 今後も「つなぐ」教育を目標に活動ください。

### ②課題及び対応について

#### 【教員等の言動について】

- △児童の行為について、頭ごなしに怒鳴るのはやめてほしい。その子に応じた指導をしてほしい。
- △最近子供から、よく「怒られた」と言ってくる。怒るのではなく「叱る」ときのように接してもらえると助かります。私も気を付けます。
- △強圧的な指導を良しとする風潮があるならば、問題だと思えます。
- △子供たちが何でも先生に話せる雰囲気づくりを作ってほしい。先生が怖くて話せないことがあるそうです。優しい言葉かけをお願いします。
- △子供を指導するときに、人格を否定するような言い方はしないでほしい。「だから、ダメなんだよ」は特に気になりました。
- △児童同士で物の貸し借り（なわとびの縄）をし、紛失したことがありました。児童、教師、保護者の報告・連絡・相談が円滑でなく未だ解決していません。ぜひ、細やかな対応をお願いします。
- △社会で生活していくための人間形成に学校という教育の場は大変重要であると考えます。子どもの可能性は無限なので、引き出す大人のかかわり方が非常に大切です。先生一人が充実し、子どもと共に日々成長していく人間であるよう望みます。

#### <学校より>

→「環境が人を育てる」といわれます。子供たちの一番身近な大人は教職員や保護者の皆様です。我々教職員は、子供たちの手本となる大人としての言動を身に付けてこそ、子供たちへ指導できるのだと思えます。しかしながら未だ不十分であることは否定できません。今後も研修等をとおして望ましい知識と態度を身に付けてまいります。

### 【学習指導等について】

△図工の材料について家庭への協力依頼が多すぎると思います。学校で用意できる材料や自然のものを工夫して使うことでも創造性が育つのではないのでしょうか。

△宿題の量が多すぎて何時間もかけて取り組んでいます。年齢にあった量なのか疑問に思います。

△食育は大事であり、熱心に取り組んでいて素晴らしいと思いますが、もう少し食育の時間を減らしてもよいのではないのでしょうか。その分勉強面に力を入れてほしいです。

△地域の人材や特産物等をもっと子供たちと地域のための教育に取り入れてほしい。

△クラブ活動日数が減りました。給食費を値上げし、授業の時間を多くしてよいと思うので元の回数を実施してほしいと思います。

△「おにぎりコンテスト」「お弁当コンテスト」は優劣をつけるものではないと思います。

ねらい（家庭教育において「食」への興味関心を高める）からかけはなれ、過剰競争になっています。

### <学校より>

→新学習指導要領が完全実施を迎えた昨今、学校と家庭及び地域で共に児童の教育を担う重要性が一層、高まりました。学力（学習への意欲・関心、思考力・判断力・表現力、知識・技能、）の向上も喫緊の課題です。一方で学校行事等の時間と教科等の学習を行う時間のバランスも非常に難しいです。内牧っ子にどのような力をつけさせることが必要なのかを教職員で検討し、保護者の皆様へ教育活動に対して支援依頼をしてまいりたいと思います。

### 【教育課程全般について①】

△学校からの持ち物や予定（プールなどの季節の行事など）の手紙の配布が遅いといつも感じています。

△不審者情報のメール配信が遅い。

△不審者情報があった場合の下校の対応を検討してほしい。

△学校評価に設問についてとらえにくいところがあります。（「確かな学力」「心の教育」「公正公平に評価しているか」）

△高学年の宿泊行事等の費用について概算でよいので、早い段階で知らせていただくと助かります。

△内牧の四季（学校だより）の表彰者の中に名前が抜けていたことがありました。残念で

した。また、学級名簿にも不備がありました。ぜひ配慮をお願いします。

△学校での様子がよくわからないところがあるのでこれからも学校の様子を知っていきます。」

<学校より>

→学校からの情報（手紙やメール）の早さ、正確さで大変ご迷惑をおかけしましたことお詫びいたします。情報確認に時間がかかりすぎたり、確認不足だったりした点が原因です。できるだけ早く概要をお伝えし、詳細は改めて伝えて（伝え方も検討して）まいります。そのため、配布物やメールが多くなってしまうという課題も出てまいります。情報量や発信回数が多くなる点につきましては、保護者の皆様にも御理解・御協力をお願いいたします。

### 【教育課程全般について②】

△登校時の手荷物がかかり重いです。学校に置いておける物について検討をお願いします。

<学校より>

→各学年に応じて登校時の持ち物の分散化や学校に置いておく物について、検討いたします。

△体育着のゼッケンが大きすぎると思う。帰宅時体育着を前後ろ逆にするのなら、はじめから小さくすべきだと思います。

<学校より>

→学校内での指導時における安全および生徒指導上の点を優先し、校内にいる職員のだれも見やすい名札を採用しております。一方で郊外に出るときにはその利点が課題となってしまう。体育着着用の場面を想定し、配慮事項を検討してまいります。

### 【施設等について】

△「うるおいのある」環境整備のためにももっと学校は声を上げるべきだと思います。

△学校の駐車場と公民館の駐車場が学校の敷地において共用になっているのは安全性から見て問題があります。

<学校より>

→学校は、子供たちが安心・安全に学べる場でなければなりません。施設の不具合についての改善要求は今後も教育委員会へ行ってまいります。また、PTA・地域の力を借りながら子供たちの安心・安全に努めてまいりたいと思います。ぜひ、お力を賜りますようお願いいたします。

願いたします。

### 【PTA・地域とのかかわり】

△ふれあいまつりのあり方が昨年と変わってしまった。模擬店での手作り感が少なくなっ  
てしまったことが残念。コンビニ等の既成販売でなく、手作りのものを出してほしい。  
△子供たちの安全を守ることが難しくなっているこの頃、地域と学校での連携が重要だ  
と思います。しかし、地域住民としての交流も十分ではないためなかなか改善できないの  
が現状です。

△PTA 役員について。平等になるように配慮してもらいたい。例えば校外役員では地区の  
中から必ず1名選出となっているが世帯数の少ない地区では何年も役員をやらないとな  
らない地区がある。

<学校より>

→いただいたご意見を PTA 役員の方々へお伝えし、対応を検討していただくよう依頼して  
まいります。

### 【最後に】

本校の教育活動に対して、多大なる御理解・御協力いただきましてありがとうございます。  
教職員の指導に対する励ましのお言葉や学校行事、食育の取組を高く評価頂きま  
した

こと、教職員一同感謝しております。また、一方でご指摘いただいたご意見をもとに  
今後もこれまでの取組をさらに精査し、子供達が輝く学校づくりを目ざし、教職員一人  
一人の資質能力の向上に努めてまいります。今後ともよろしく願いたします。